

2024年5月30日

七尾地区本部新社屋の建設に係る起工式の実施について

一般財団法人北陸電気保安協会（理事長 須河元信）は、七尾地区本部新社屋の建設開始にあたり、起工式を執り行いましたのでご案内いたします。

一般財団法人北陸電気保安協会のほか、七尾市町会連合会会長、中町内会会長、新ビルの建設を担うりんかい日産建設株式会社など関係者の出席のもと、建設工事の安全を祈願いたしました。

現状の七尾地区本部（七尾市津向町）は、能登サテライトオフィス（鳳珠郡穴水町）の人員・車両を集約するにはスペースが不足していることに加え、建物の老朽化や前面道路の冠水等、早急に対応が必要な課題に直面しています。また、能登半島地震を踏まえた危機管理体制の充実のため、防災対策拠点としての機能を強化する必要性がありました。

これらの課題に対応するため、七尾地区本部を移転、新築し、地域のお客さまへの更なるサービスの向上に努めてまいります。

記

1. 建設のねらい

- ・ 危機管理体制の充実に向けた防災対策拠点としての機能強化
- ・ ニューオフィスの導入、リモート環境整備等のDXの推進、セキュリティ強化による働きやすい職場環境の整備

2. 建設計画概要

建設地・ 建設概要	・ 場所：石川県七尾市田鶴浜町り6番1 ・ 規模：鉄骨造、地上2階建、延床面積 約800㎡
設計・施工	・ 設計：株式会社押田建築設計事務所 ・ 施工：りんかい日産建設株式会社 東京支店
CM	・ 明豊ファシリティワークス株式会社 (※CMとは、コンストラクション・マネジメントの略で、中立性を保ちつつ発注者側に立ち、建設プロジェクトの実施のための技術的な各種マネジメント業務を行う手法)
主な特徴	・ 防災対策拠点の整備 (危機管理体制充実のため、建物の耐震性能Ⅱ類(※1)を確保するほか、非常用発電機の設置、防災備蓄品の配備等により、防災対策拠点として整備) ・ 省エネ性能に優れた社屋 (建物の高断熱化、高効率設備の導入による大幅な省エネルギー、屋上に設置する太

	陽光発電設備の創エネルギーにより、Nearly ZEB（※2）認証取得を目指す） ・ニューノーマル時代に対応したニューオフィスの導入 (執務スペースは、コミュニケーションの活性化及び多様な働き方に対応できるよう、固定席を設けないフリーアドレスの導入を進めるとともに、新しい付加価値創出のためDXを推進)
--	---

※1：耐震性能はⅢ類からⅠ類に3分類され、Ⅱ類は、大地震道後、構造体の大きな補修をすることなく建物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている建物。

※2：Nearly Zero Energy Building の略。快適な室内環境を保ちながら、従来の建物で必要なエネルギーと比較し、省エネルギー・創エネルギーにより75%以上のエネルギー消費量の削減を実現している建物。

以 上

<参考>

- ・完成イメージ



- ・新社屋の位置図

